

競技上の注意事項(お願い)

□ 競技の運営が円滑に行われるよう、次の諸点にご協力ください。

- 大会に参加できない生徒が出た場合の措置について
 - 個人戦においては、棄権とし、変わりの選手が出る時にはオープンとします。
 - 団体戦においては、下記「《団体戦の注意事項》3. 団体登録選手変更手続きについて」に従って対応してください。指定の期日以降は取り消しのみとなります。
- 各日程受付を8:45(5月31日(金))は12:30より始めますので、出場選手は各日程の試合開始までに必ず受付を行って下さい。
- 試合前のウォームアップはトスによるエンド決定の後に開始し、原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。
- 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
- 試合前のユニフォームに、ゼッケン着用等による学校名の表示を励行します。また、大会参加における服装規定は、現行の全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとします。
- 個人戦の試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控え(next=プレー中の次の試合)の選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。団体戦の試合は、団体進行計画表に従ってください。
- 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。雨天の場合も出場選手は一旦試合会場にて受付を行い、以後の日程の連絡を受け取ることを原則としています。
- 試合球は、男女ともウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY(エクストラ・デュティ)」。大会本部で準備します。ドロー番号の少ない(小さな)選手(=以後、「若番」と称する)が試合開始前に本部にボールを取りに来て下さい。対戦後、開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
- ベンチは本部に近い方、得点板は上の段または審判台側または左側を若番が使用します。

《団体戦の注意事項》——【県高校総体形式】

- 形式について
 - ダブルス1組、シングルス2人名の対抗トーナメントとする。
 - 1回戦～準々決勝までは1セットマッチで行い、準決勝・決勝は8ゲームズプロセットマッチを原則とする。
- 選手登録について
 - 実力順位でNo.1からNo.5までの4人以上5人以内で登録する。
 - 登録順位においては、以下の通りとする。
 - シングルスポイントを20ポイント以上保持している選手を、ランキングの高い順に登録する。
 - 上記以外の、ダブルスポイントを20ポイント以上保持している選手を、ランキングの高い順に登録する。
 - 上記以外の、シングルスおよびダブルスいずれかのポイントを保持している選手を、校内の実力順に登録する。ここでは、ランキングの高い順でなくても良い。
 - 上記以外の、シングルスおよびダブルスいずれのポイントも保持していない選手を、校内の実力順に登録する。
- 団体登録選手変更手続きについて
原則として負傷・疾病等やむを得ない事情が生じた場合のみ認める。選手を入れ替える場合は、所定の用紙を、診断書等の理由を付して顧問会議前日(通常、大会初日前日)の12:00までに専門委員長に提出すれば専門委員で検討し、翌日の監督会議で認めることもある。
- 高体連主催大会における複数校合同チーム参加について
テニス競技は該当競技ではない為、複数校合同チームで参加することはできない。
- 選手オーダーについて
 - 同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。
 - 選手オーダーは、登録選手の中で各対戦ごとに組み替えることができる。
 - シングルスについては、登録順位の上位の者をNo.1とすること。
 - ダブルスは5人の中から適当に1組作り、シングルスは残りの3人のうちどの2人が出場してもよいが、登録の順位に従ってオーダーを提出しなければならない。
 - オーダー用紙は同じ内容のものを3部(本部用、対戦校交換用、自校控用)作成し、試合当日の初戦のものは受付時に、二廻り目以降は対戦決定後すみやかに本部へ提出すること。

6. 試合の順序・方法について

- a. 試合は、ダブルス・シングルス No. 1・シングルス No. 2 の順に行い、勝敗が決定した時点で試合を打ち切る(ゲーム途中の場合はそのゲーム終了時点での打ち切りとする)。ただし、初戦のみ全ポイント行う(オープン参加の学校との対戦は初戦とはみなさない)。進行の状況に応じて、2面または3面の同時進行で行うことがある。
- b. 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行する。
- c. 2人か3人の学校はオープン参加とし、2人のときは、シングルス No. 1 と No. 2 で出場。3人のときは、ダブルスとシングルスの試合を行う。1人のときは出場できない。

7. 試合の進行について

- a. 試合開始にあたっては、両校監督・選手整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。その際、登録選手は全員整列することを原則とする。
- b. 監督は、相手校に対し選手の紹介・確認を行う。
- c. ベンチコーチの助言は、エンド交代時に限る。
- d. コートに入れる者は、選手及びベンチコーチ(試合を行っている学校の監督または登録選手)各コート1名に限る。
- e. ベンチコーチのコート移動に際してコートより出入りするタイミングは、ポイント間に統一する。
- f. 審判は、初戦は対戦校同士のソロチュア・アンパイア(SCU)を出し合い、2回戦以降は敗者によるSCUを原則とする。
- g. リタイアした選手はそれ以降の同日の試合には出場できない。(次の日になれば出場可)ただし、ダブルスにおいては、リタイアの主因となった選手のみをその対象とする。なお、出場できる選手が3名になったときは、S2を不戦敗とする。ただし、翌日以降に3名のままとった場合は、棄権とする。

8. 表彰と上位大会について

- a. 大会中の団体戦初日の開会式において優勝旗返還を行うので、昨年度の優勝校は開会式参加時に必ず優勝旗を持参すること。
- b. 表彰は4位まで行う。
- c. 原則として当該年度の全九州総合体育大会には上位2校、全国高等学校総合体育大会には優勝校が参加資格を得る。

《個人戦の注意事項》——【県高校総体形式】

1. 試合の順序・方法について

- a. 5月31日(金)男女ダブルスの試合については、受付12:30より、開始時間13:00の予定です。県高体連本部より、全ての競技において「大会会場における総合開会式開催中の練習」を自粛する旨通達がでています。ご協力をお願いします。
- b. 《男女シングルス》準々決勝戦、準決勝戦及び決勝戦は8ゲームズプロセットマッチで行い、それまでは1セットマッチで行うことを原則とする。それぞれ6ゲームズオール及び8ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。また、準決勝戦敗者による3位決定戦ならびに準々決勝戦敗者による5~8位決定戦を1セットマッチで行う。シングルス準々決勝戦敗者の選手は、大会最終日に所定の会場に集合すること。
- c. 《男女ダブルス》1回戦~準々決勝戦は1セットマッチを、準決勝戦・決勝戦は8ゲームズプロセットマッチで行うことを原則とする。6ゲームズオール及び8ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用する。準決勝戦敗者による3位決定戦を1セットマッチで行う。
- d. 表彰はシングルス6位まで、ダブルス4位まで行う。

2. 荒天時の大会日程について

日程がずれてきても、原則として日程に明記してある種目についてはその当日に実施する。個人シングルス5月25日(土)の未消化試合は5月26日(日)に行う。また、5月31日(金)の未消化試合は本部の指示に従うこと。

3. 原則として当該年度の全九州総合体育大会には男女シングルス上位4人、男女ダブルス上位2組が、全国高等学校総合体育大会には男女シングルス上位2人、男女ダブルス優勝組が参加資格を得る。